

「体験の風をおこそう」運動

アウトドアチャレンジ野外力検定会(初・中級編)

1. 実施概要

(1) 趣旨

単なる体験活動だけではなく、自らが習得した野外力を客観的に評価し自信を高めるためにアウトドアチャレンジ運営協議会が編纂した「野外力検定チャレンジブック」に基づき、野外での「知識」と「技能」を楽しみながら検定する。なお、検定項目の未修得者や再確認のために、検定に先駆けて講習会も開催する。

(2) 日程

平成24年1月8日(日) 9:30～15:45

平成24年2月26日(日) 9:30～15:45

(3) 実施会場

国立オリンピック記念青少年総合センター 野外活動広場(東京都渋谷区代々木神園町)

(4) 参加者数、地域、対象者年齢等

平成24年1月8日(日)

参加者数:9人(1都2県、小学5年生～中学2年生 ※成人の参加もあり)

平成24年2月26日(日)

参加者数:27人(1都1県、小学3年生～高校1年生 ※成人の参加もあり)

(5) プログラム展開

月 日	内 容
1/8・2/26 9:30	参加者受付開始
9:45	開会式・全体オリエンテーション
10:00 ～12:20	検定練習 40分×3種目 (間に10分×2回の休憩・移動・調整時間) 1/8 観察・火・刃物・ロープの4種目より3種目選んで受講 2/26 コンパス・火・刃物・ロープの4種目より3種目選んで受講
12:20 ～13:00	昼食 (検定会に向けての練習時間)
13:00	検定会の説明
13:15 ～14:55	検定会 30分×3種目 (5分×3回の休憩・移動・調整時間) (種目については、検定練習と同様)
15:00	おやつ
15:30	発表・閉会式
15:45	終了・解散



ロープ結び



火起こし

「体験の風をおこそう」運動

2. 事業の特色

(1) 企画にあたって工夫・留意した事項

事業趣旨である「楽しみながら野外技能を修得する」こと「自分自身への自信を体得する」ことを念頭に事業企画した。また、参加者の経験度が不明なことから、事前講習と検定時間の配分について留意した。具体的には、参加者の体験充実度を向上させるため種目間の移動や休憩時間に10分、練習時間を1種目40分とした。また、検定結果を集約する待ち時間には「おやつタイム」として、焚き火で焼きマシュマロを楽しんだ。時間配分をゆったり設定した結果、4種目用意した種目のうち3種目の受講のみとなったが、そのことに対する参加者からの不満はなく、運営者側スタッフとしても特に問題はなかった。また、事業実施にあたっては、各団体*のもつノウハウを盛り込んだ展開となるよう努めた。開催会場の選定では、参加しやすさを考慮し新たに設置されたオリンピックセンター内の野外活動広場とし、その便利さを感じることができた。

* : 下記(6)を参照

(2) 運営にあたって工夫・留意した事項

実行委員の所属する各団体が、検定種目を担当し企画・実施等スムーズに進められるよう努めた。事前に3回の実行委員会を開催し、参加者が楽しく挑戦できると共により効果的な検定会運営に向けて詳細な協議を行った。また、事後にも実行委員会を開催し、運営における反省評価と次回に向けての改善点等協議した。実行委員会には、会場であるオリンピックセンターや国立青少年教育振興機構の担当者の方々にも実行委員会に参席していただき、細かなアドバイスをいただいた。

(3) 安全への配慮

実地踏査を事前・直前各1回実施した。火や刃物など、一歩間違えればケガにつながる内容の種目もあり、安全にも配慮できるよう、十分な数のスタッフで運営した。

(4) 募集方法、広報活動

会場である渋谷区の教育委員会の後援を得て、渋谷区内の全小学校・中学校にチラシ配布を依頼した。また、会場であるオリンピックセンターへはチラシ配布やポスター掲示等を依頼し、実行委員が所属する団体のホームページ等でも周知に努めた。

(5) 企画・運営上の課題と対策等

開催時期の検討が必要だと感じた。いろいろな理由で正月明けの3連休の中日に開催したが、希望通りの参加者数を得ることができなかった。2月26日の参加数についても、定員に達することができず、冬季における野外活動への開催についてどのように魅力を感じさせ、参加者を募るか大きな課題であると感じた。

(6) 連携した企業・団体と連携の内容

ガールスカウト日本連盟、日本キャンプ協会、日本レクリエーション協会、日本ネイチャーゲーム協会、自然体験活動推進協議会、国際自然大学校、日本ボーイスカウト東京連盟の各団体から実行委員を選出し、企画・実行・評価反省と協働して実施することができた。

(7) 事業成果の普及・啓発

参加者アンケートの結果、検定会の練習は全員が「とても楽しかった！」と答え、ほとんどが「また絶対参加したい」と答えていたことから、事業の成功、今後へのつながりができたと考えられる。

3. 団体のプロフィール

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟
アウトドアチャレンジ初中級実行委員会
TEL 03-5805-2635 ホームページ www.x-out.jp

